

2012 年度研究科アンケートの結果について

集計結果

1. 成果・肯定的評価

(14) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。

「とてもためになった」 49 (51.0%) 「まあまあためになった」 39 (40.6%)

「あまりためにならなかった」 6 (6.3%) 「ほとんどためにならなかった」 1 (1.0%)

(7) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていますか。

「とてもそう思う」 19 (19.8%) 「ややそう思う」 65 (67.7%)

「あまりそう思わない」 11 (11.5%) 「まったくそう思わない」 0 (0%)

※90%以上の院生が、自分のためになったと肯定的に評価しており、教職大学院での学びに対して肯定的にとらえている。

教育現場の課題についても、高い評価というわけではないが、授業で取り上げ、検討することができていると肯定的に評価している。

2. 課題・否定的評価

(12)-1 教室の設備は適切でしたか。

「適切だった」 11 (11.5%) 「まあまあ適切だった」 39 (40.6%)

「あまり適切ではなかった」 42 (43.8%) 「全く適切ではなかった」 3 (3.1%)

(12)-2 院生室の設備は適切でしたか。

「適切だった」 18 (18.8%) 「まあまあ適切だった」 41 (42.7%)

「あまり適切ではなかった」 30 (31.3%) 「全く適切ではなかった」 7 (7.3%)

(12)-3 大学の設備は適切でしたか。

「適切だった」 9 (9.4%) 「まあまあ適切だった」 43 (44.8%)

「あまり適切ではなかった」 37 (38.5%) 「全く適切ではなかった」 7 (7.3%)

(5) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。

「適切だった」 9 (9.4%) 「まあまあ適切だった」 49 (51.0%)

「あまり適切ではなかった」 33 (34.4%) 「全く適切ではなかった」 4 (4.2%)

※施設、設備に対する不満がかなりある。特にストレートマスターにその傾向が強い。大学当局への要望をしながらも、研究科としてできることから改善を常に図っていく必要がある。時間割編成についても、共通必修科目とコース必修科目が同じ時間帯にならないように設定するなど、改善は図っている。継続して取り組んでいく必要がある。

3. カリキュラムについて

(3) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。

「期待以上だった」 13 (13.5%) 「まあまあ期待通りだった」 61 (63.5%)

「少し期待はずれだった」 22 (22.9%) 「全く期待はずれだった」 0 (0%)

(6) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。

「とてもそう思う」 10 (10.4%) 「ややそう思う」 58 (60.4%)

「あまりそう思わない」 24 (25.0%) 「まったくそう思わない」 2 (2.1%)

※授業内容について、少し期待はずれだったという回答がやや目立つ。教育課程についても否定的な評価が少なくない。カリキュラム改革に取り組むとともに、院生に対してカリキュラムの考え方を伝えていくことも必要であろう。具体的には、自由記述を参照。

4. 院生への支援体制について

(8) 履修指導は適切でしたか。

「適切だった」 19 (19.8%) 「まあまあ適切だった」 59 (61.5%)

「あまり適切ではなかった」 14 (14.6%) 「全く適切ではなかった」 2 (2.1%)

(9) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。

「適切だった」 21 (21.9%) 「まあまあ適切だった」 40 (41.7%)

「あまり適切ではなかった」 17 (17.7%) 「全く適切ではなかった」 2 (2.1%)

(10) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。

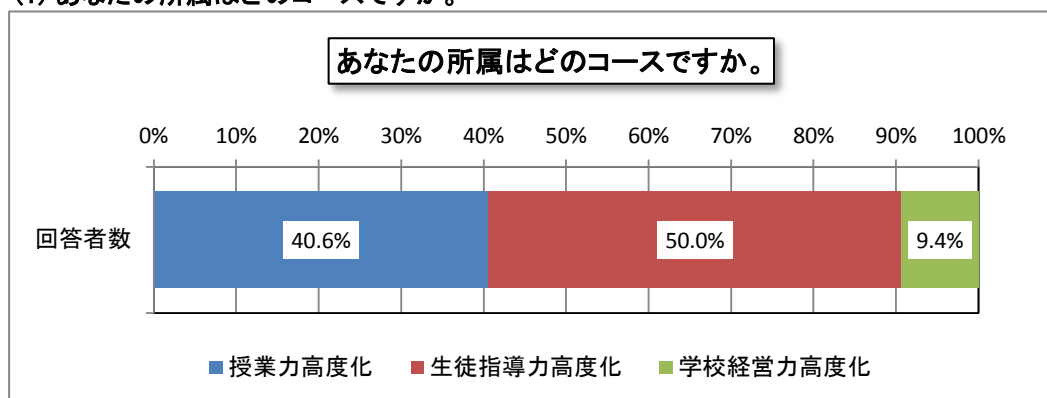
「適切だった」 22 (22.9%) 「まあまあ適切だった」 47 (49.0%)

「あまり適切ではなかった」 17 (17.7%) 「全く適切ではなかった」 1 (1.0%)

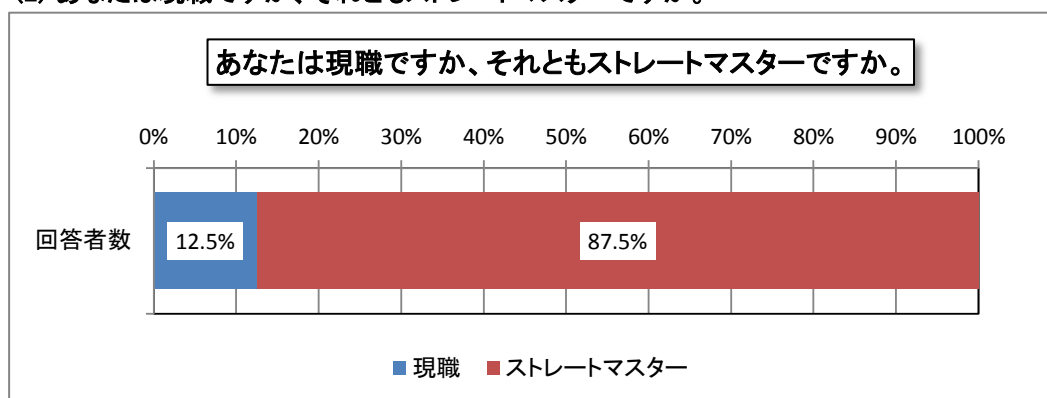
※おおむね肯定的に評価されているが、いずれもほぼ同じ人数の院生が否定的に評価しており、改善を図る余地はあると思われる。

連合教職実践研究科アンケート(2012年度)【全体】

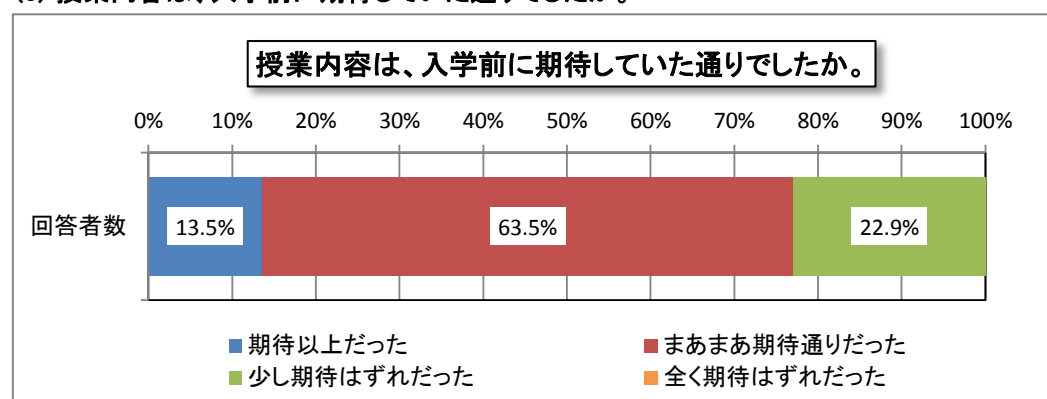
(1) あなたの所属はどのコースですか。



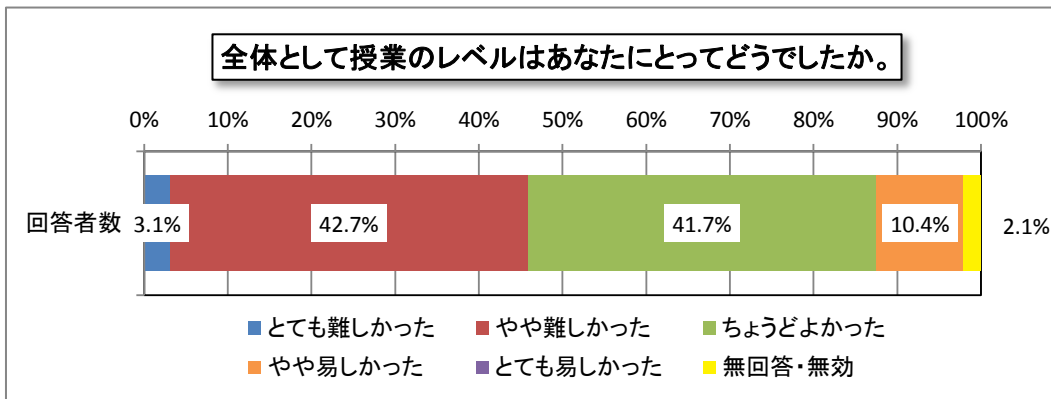
(2) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。



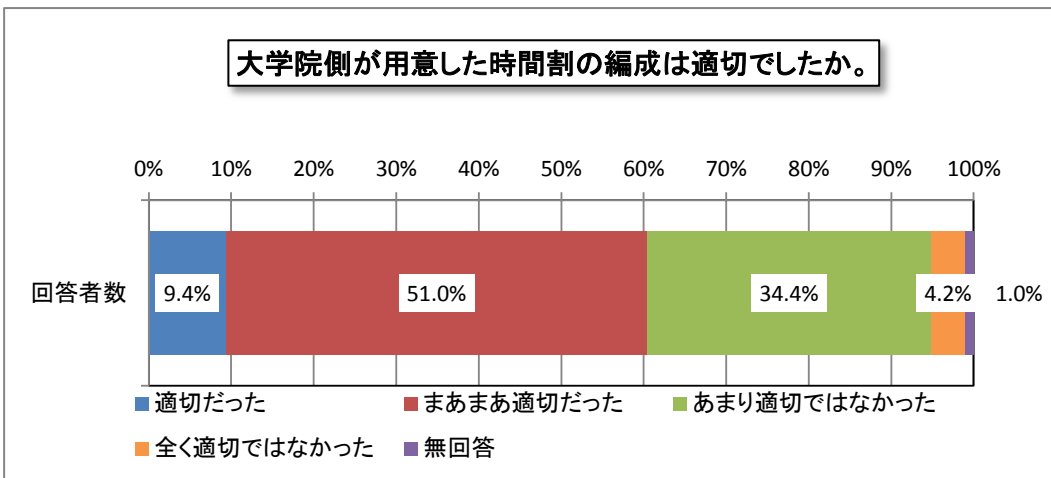
(3) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。



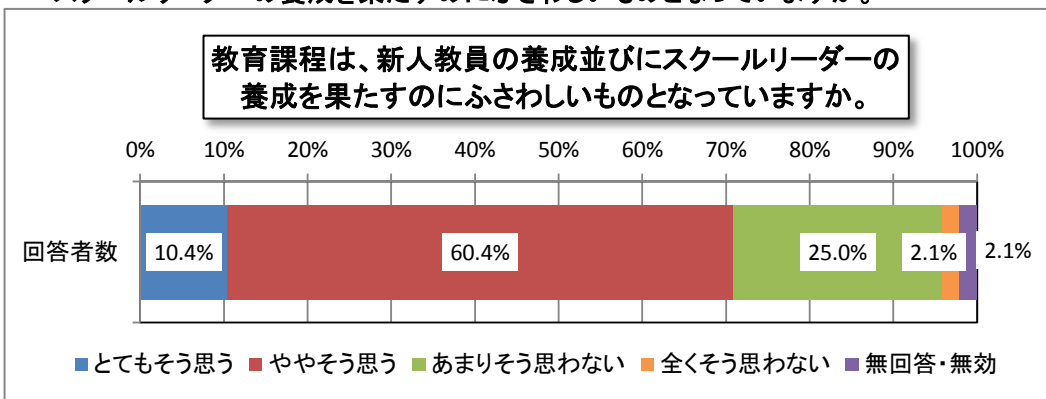
(4) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。



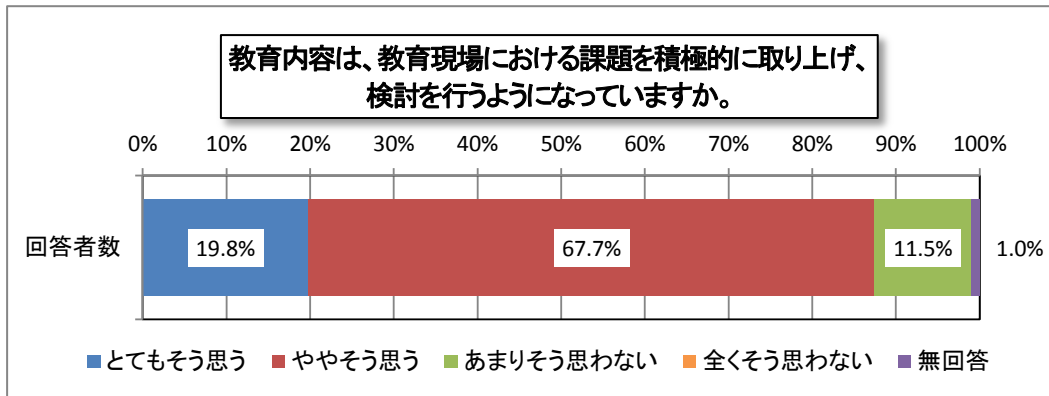
(5) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。



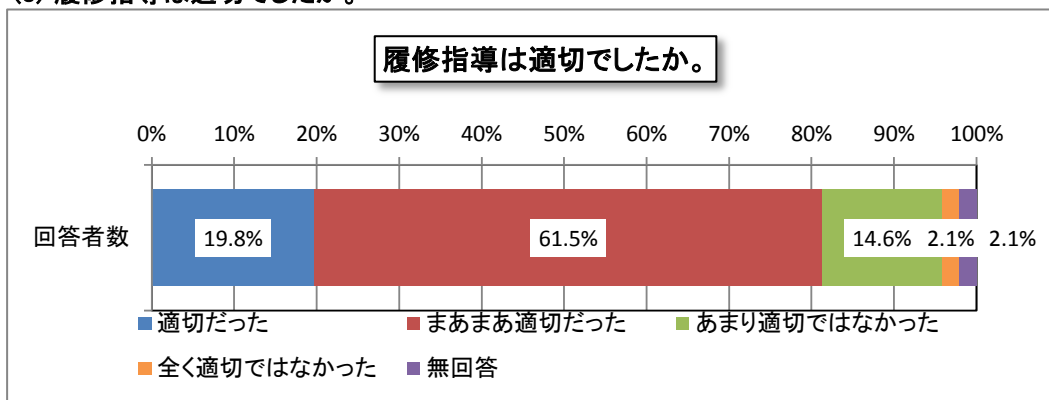
(6) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。



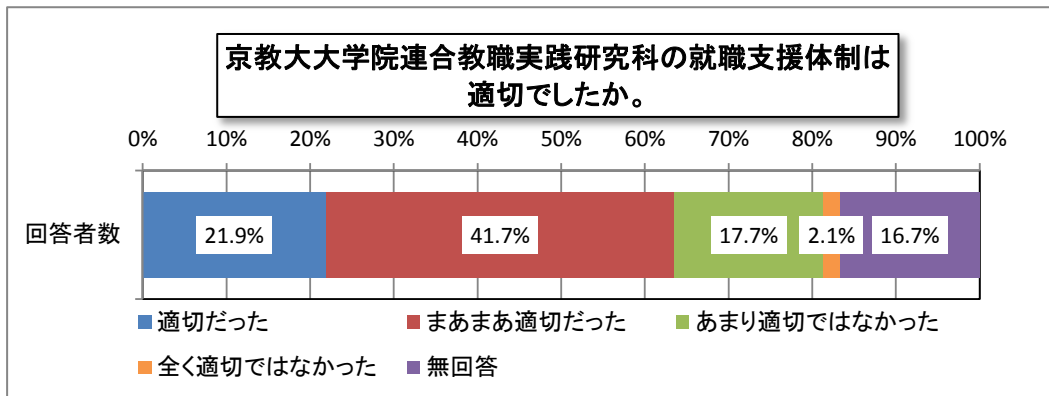
(7) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていきますか。



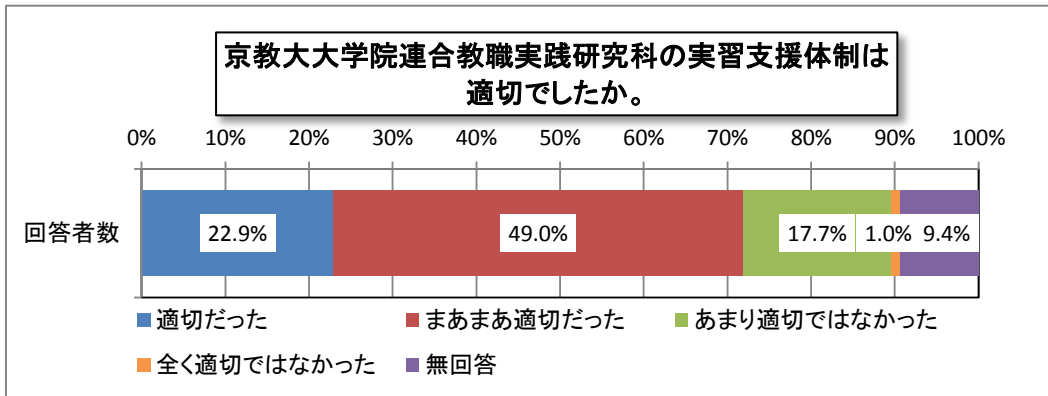
(8) 履修指導は適切でしたか。



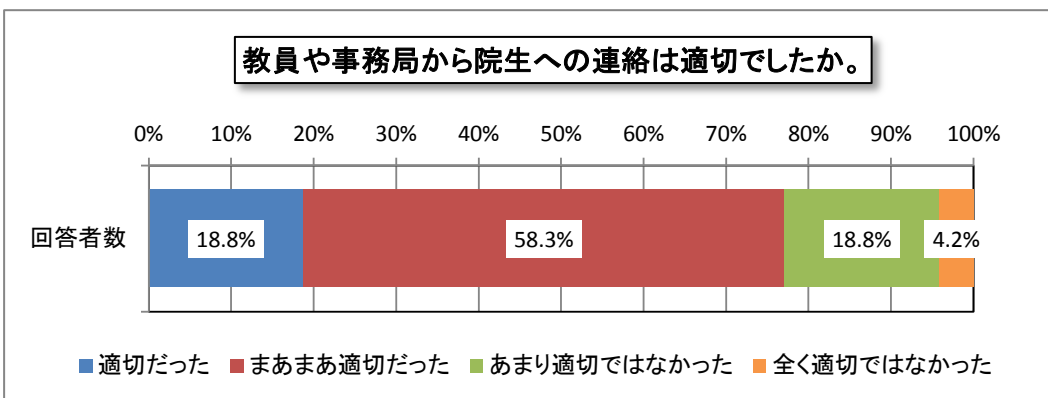
(9) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



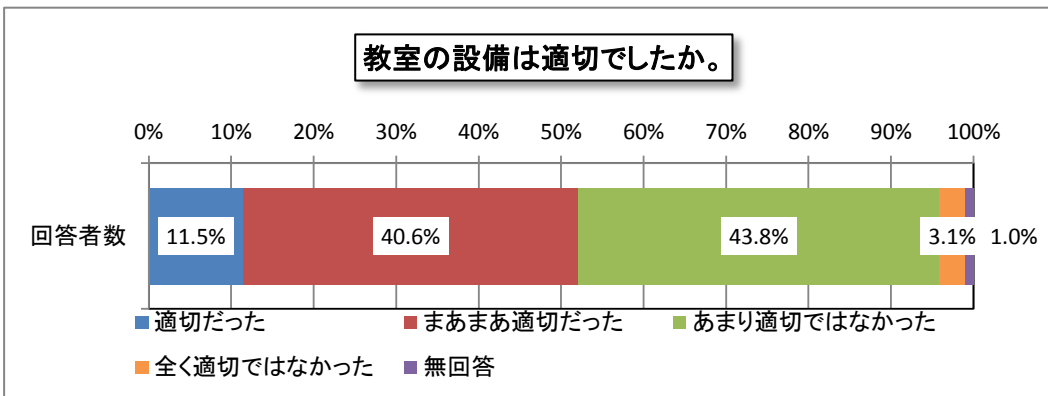
(10) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。



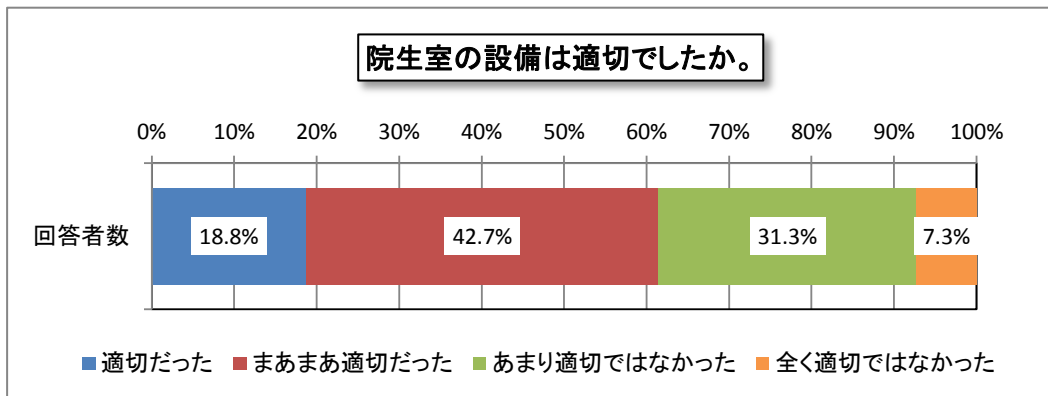
(11) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。



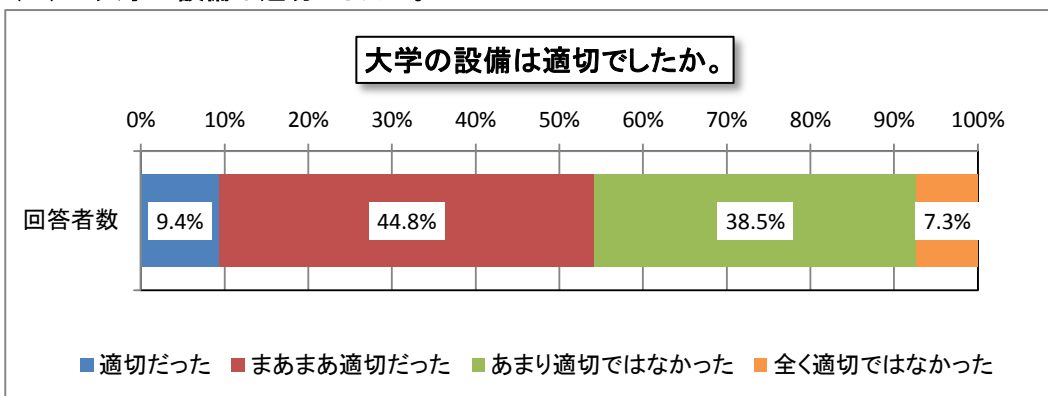
(12)-1 教室の設備は適切でしたか。



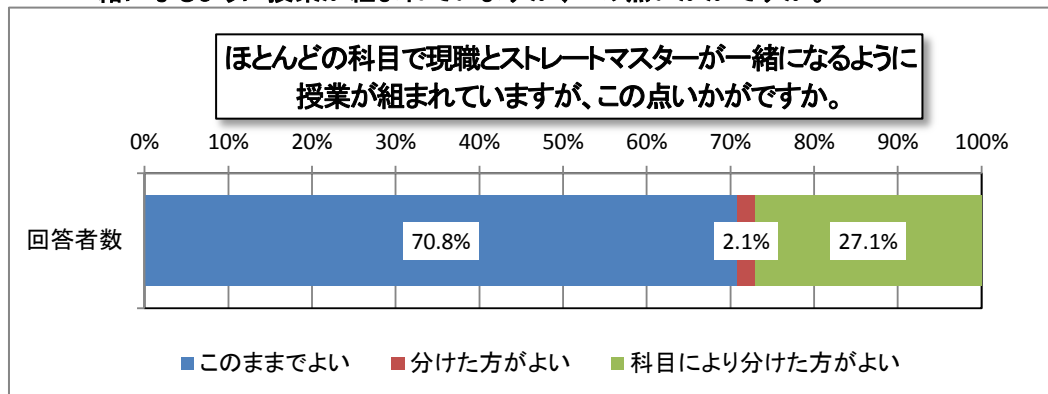
(12)-2 院生室の設備は適切でしたか。



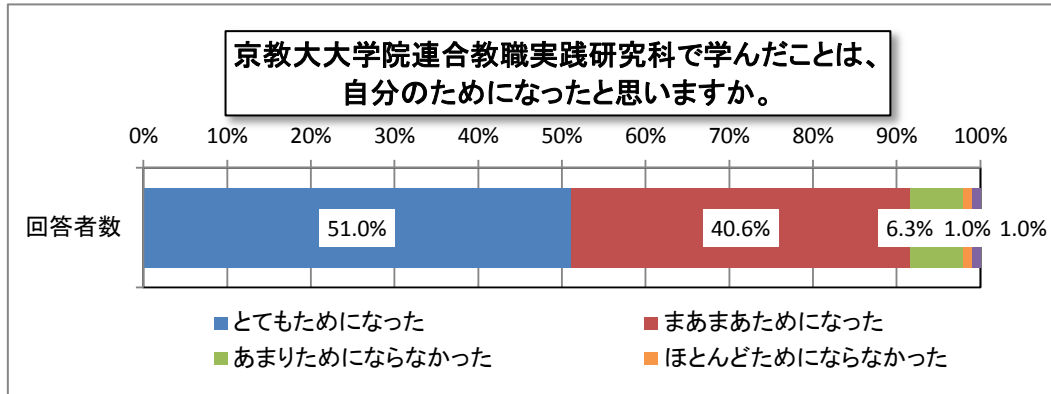
(12)-3 大学の設備は適切でしたか。



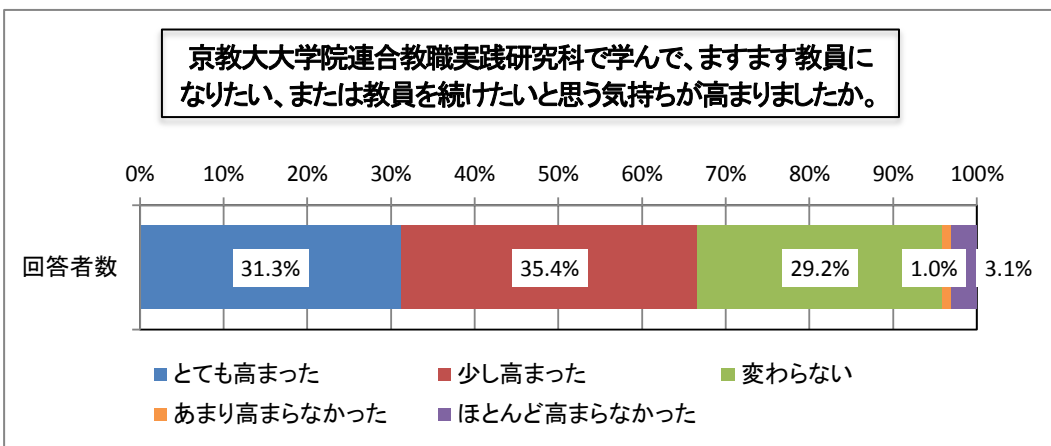
(13) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科では、ほとんどの科目で現職とストレートマスターが一緒になるように授業が組まれています。この点いかがですか。



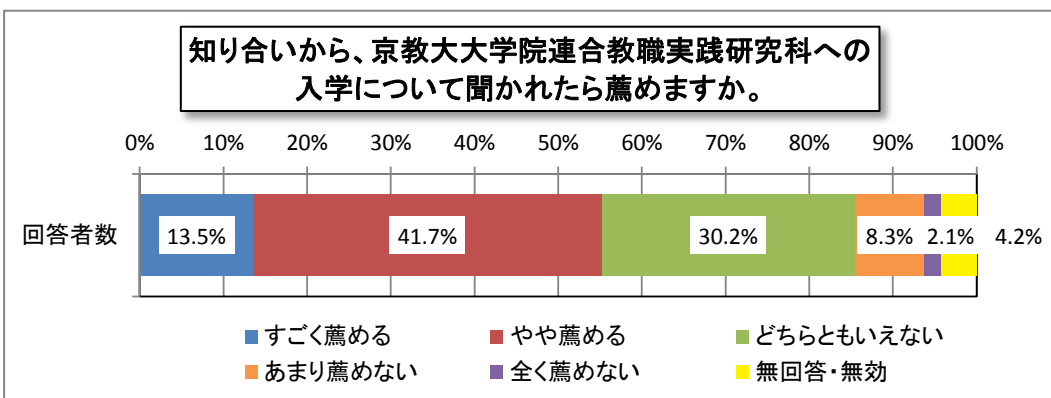
(14) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。



(15) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

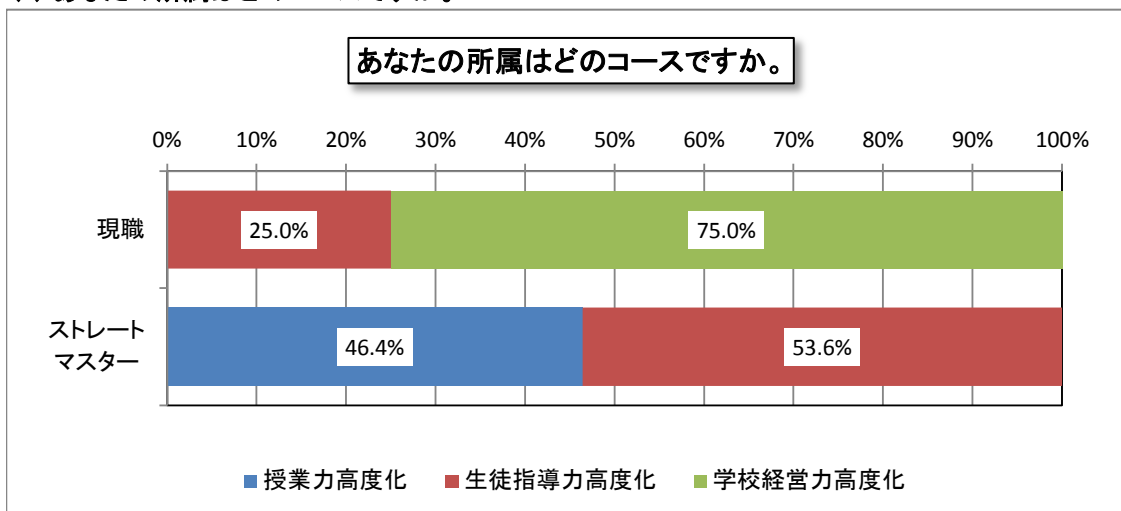


(16) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

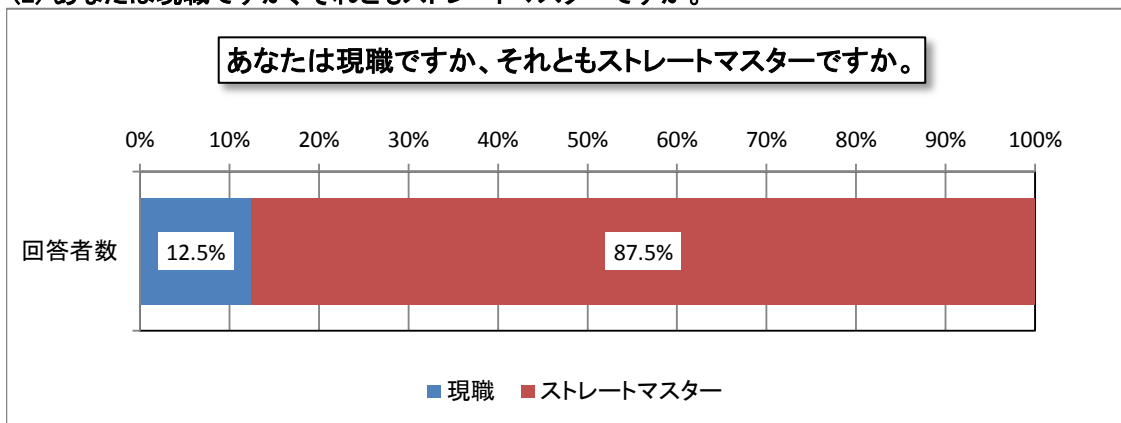


連合教職実践研究科アンケート(2012年度)【現職・ストレートマスター別】

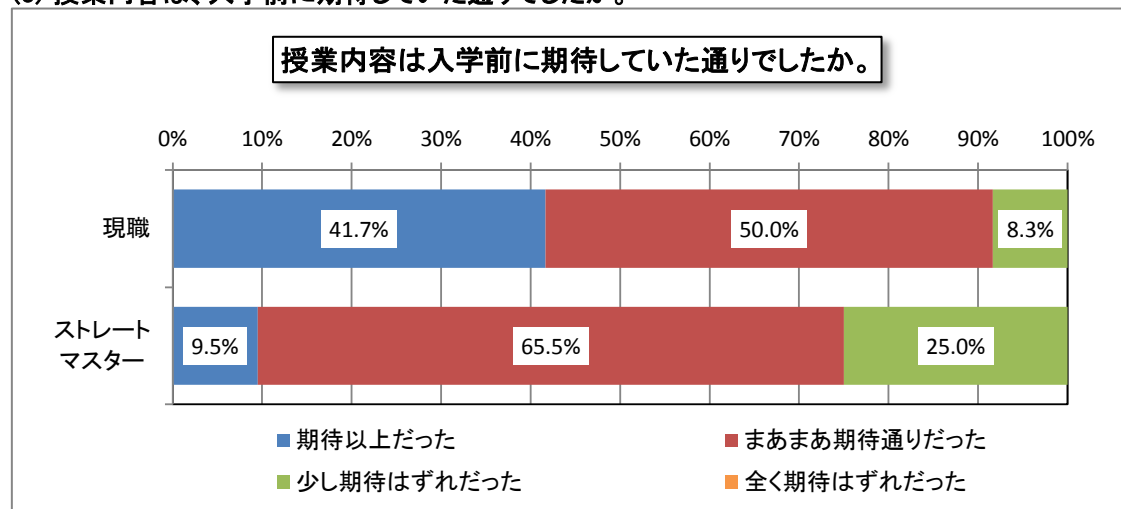
(1) あなたの所属はどのコースですか。



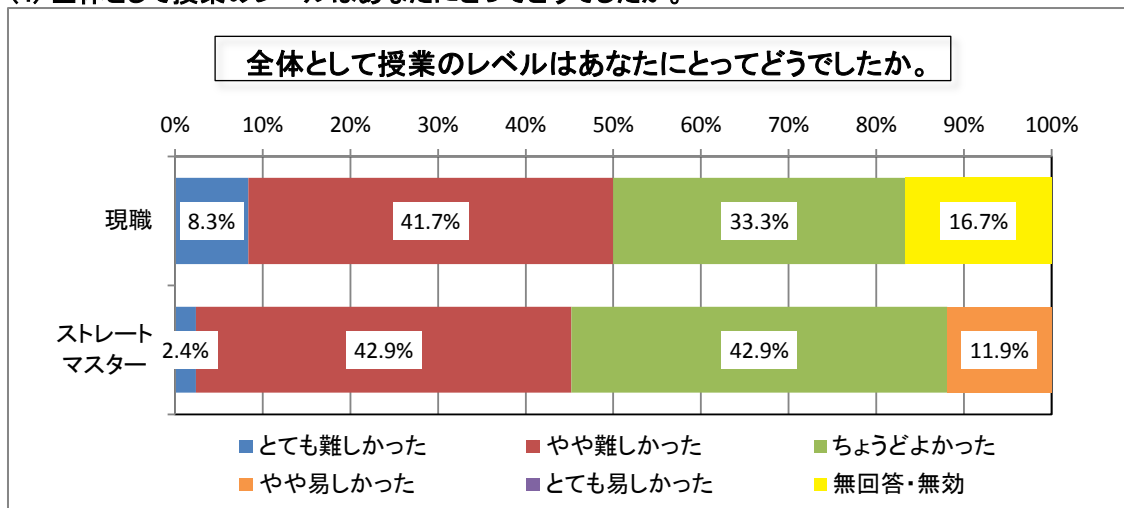
(2) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。



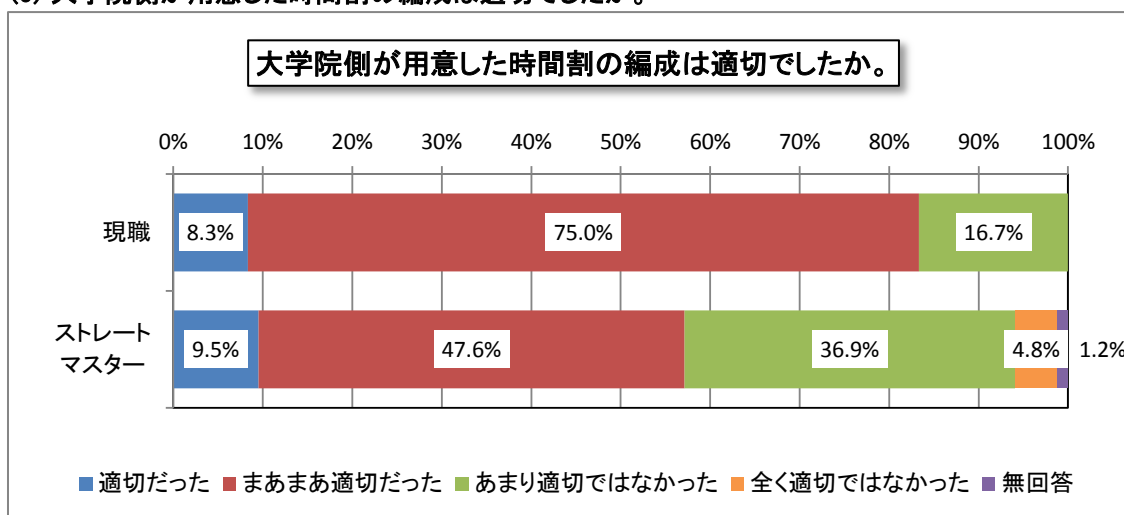
(3) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。



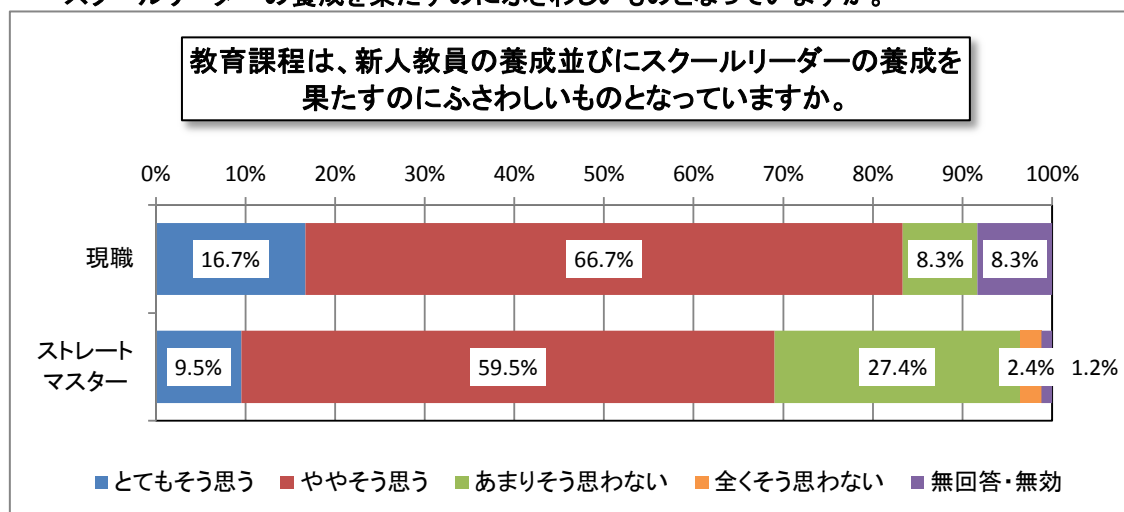
(4) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。



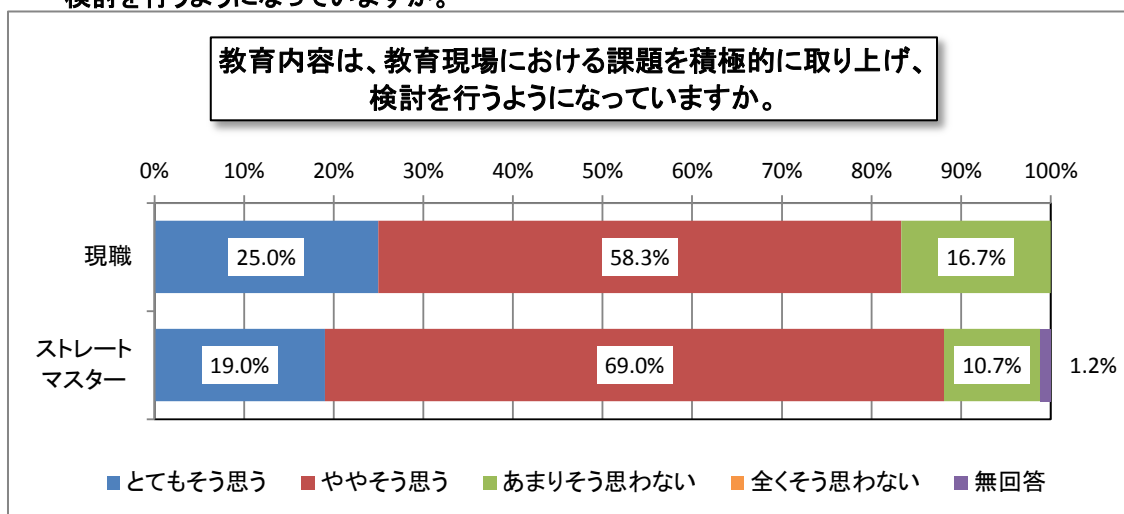
(5) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。



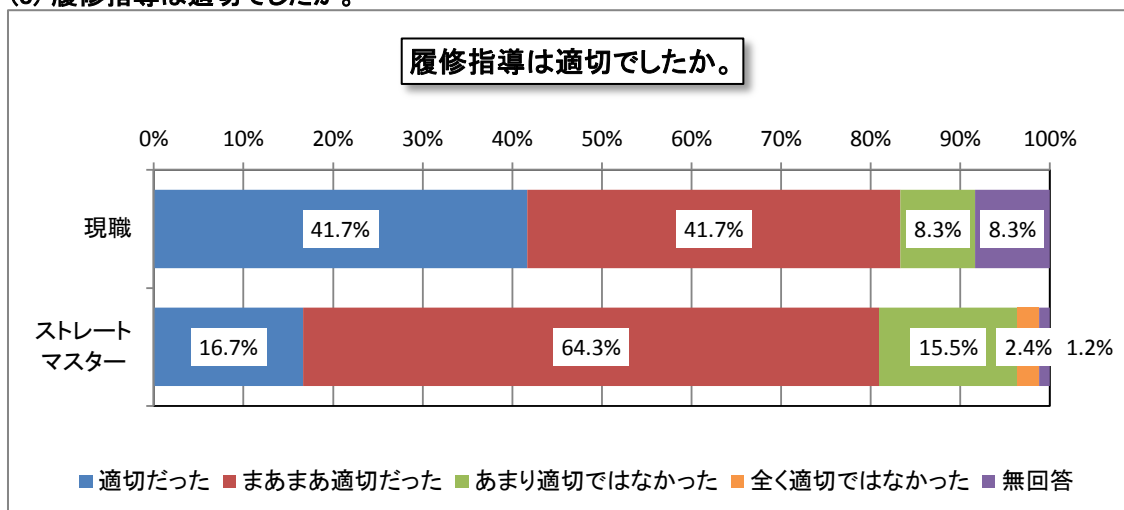
(6) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。



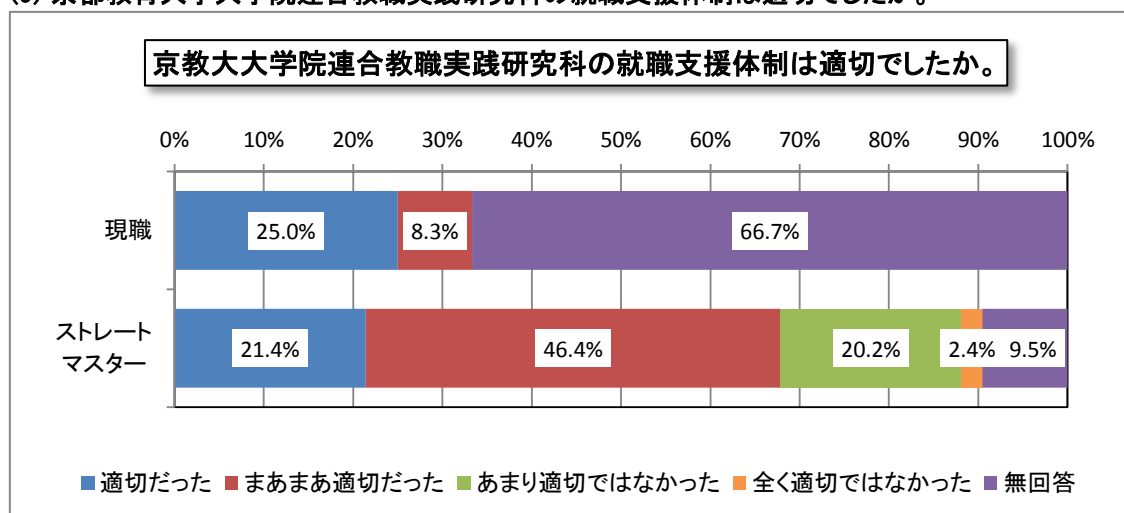
(7) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていきますか。



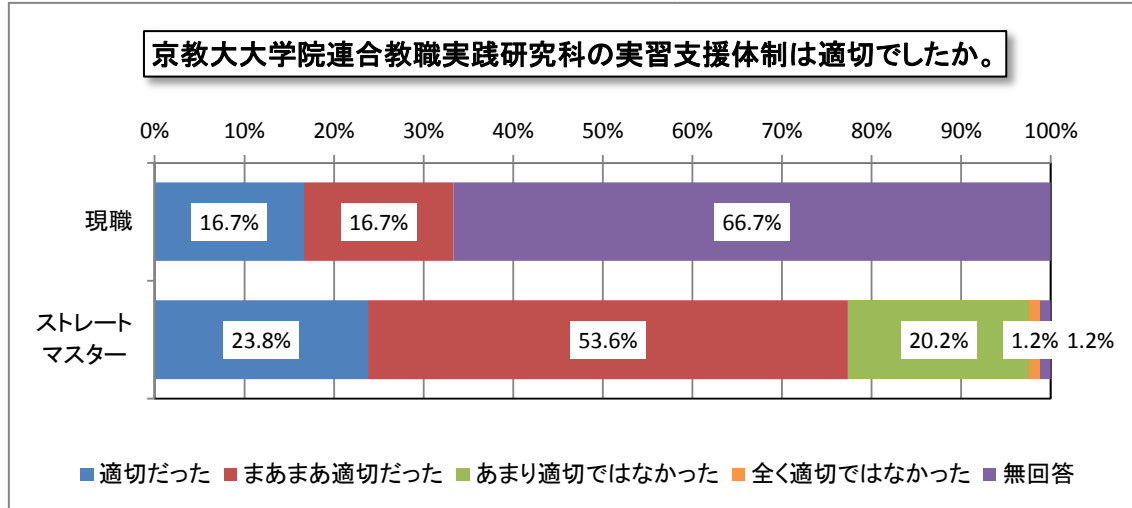
(8) 履修指導は適切でしたか。



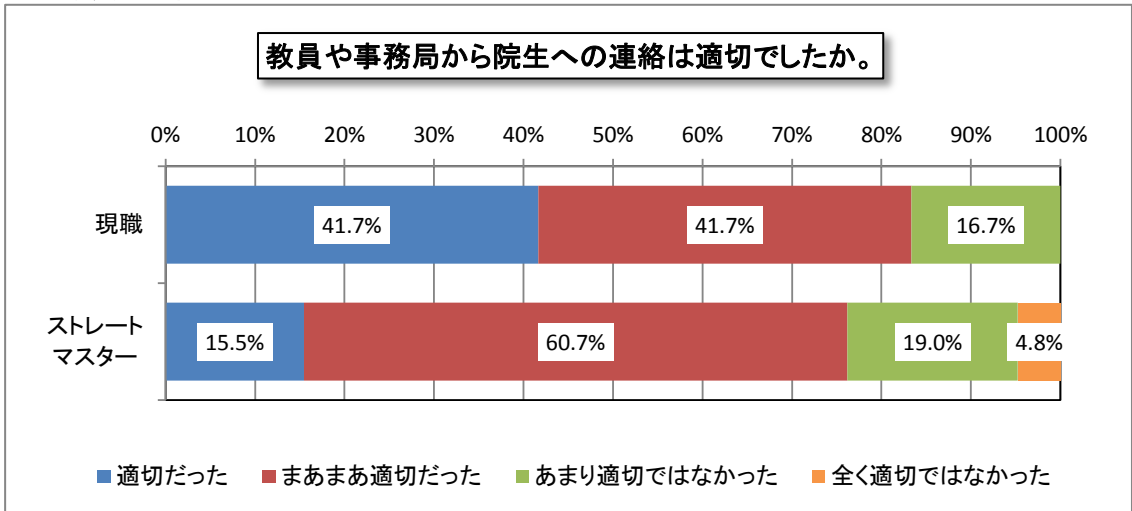
(9) 京大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



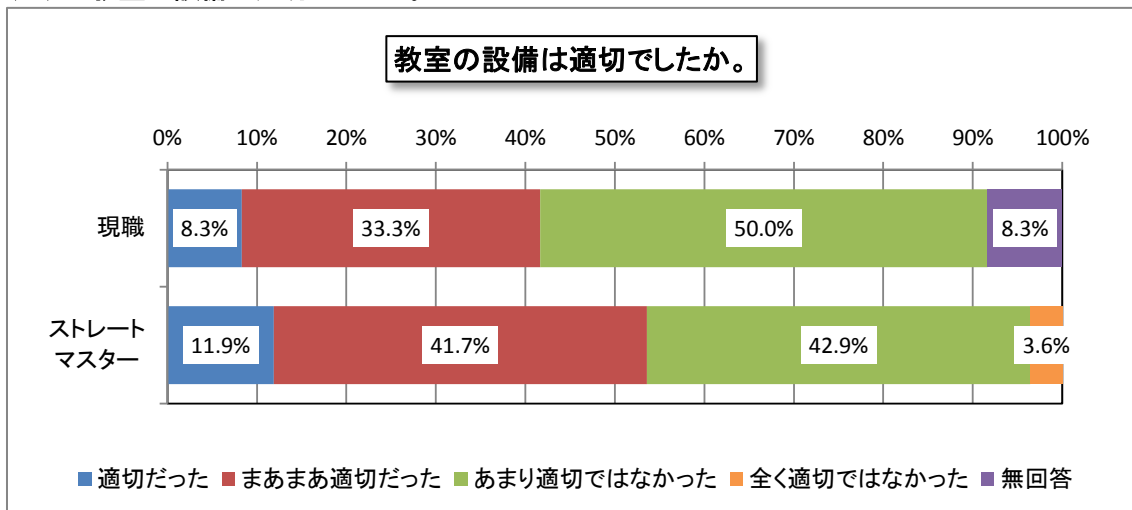
(10) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。



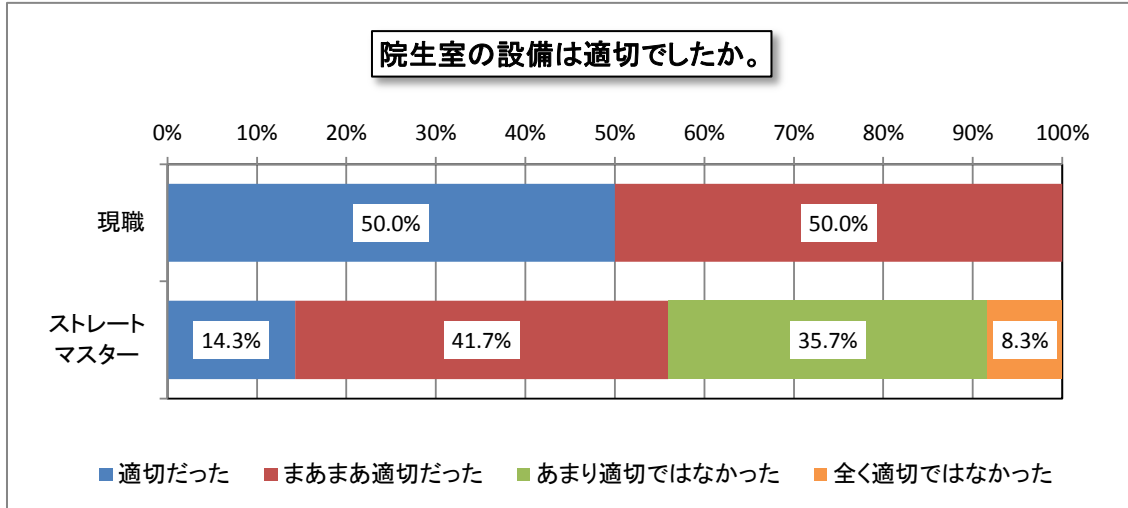
(11) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。



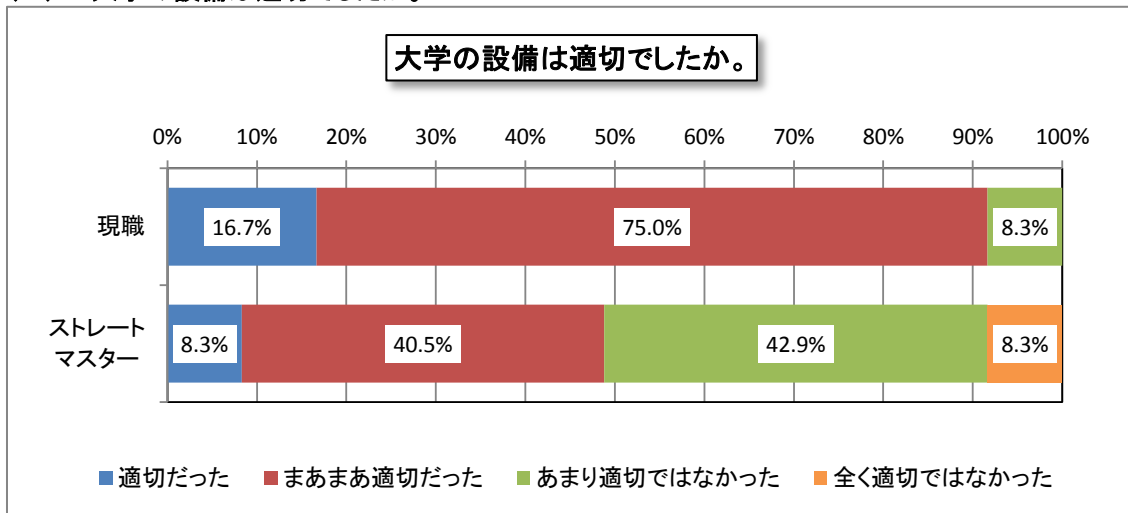
(12)-1 教室の設備は適切でしたか。



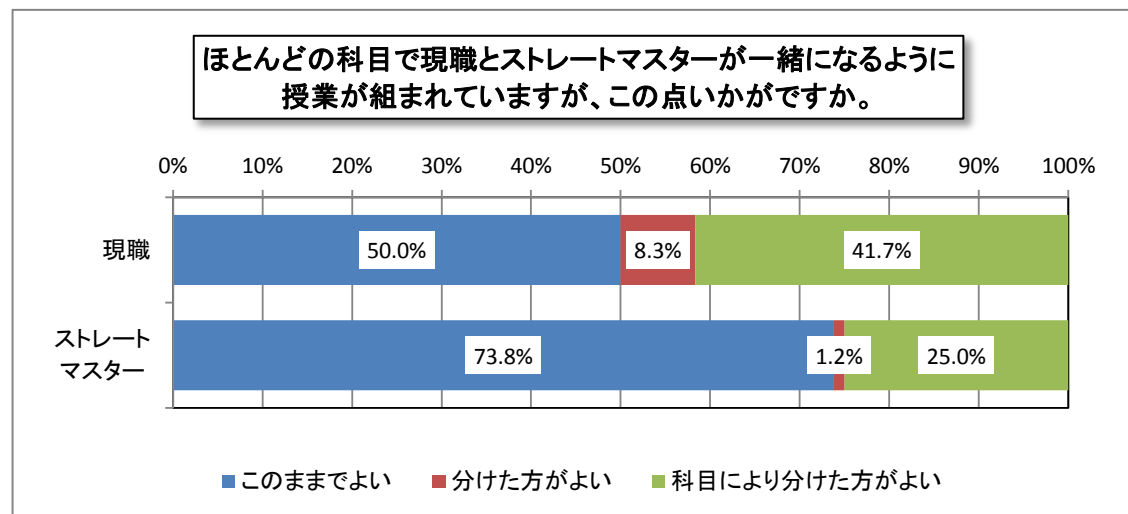
(12)-2 院生室の設備は適切でしたか。



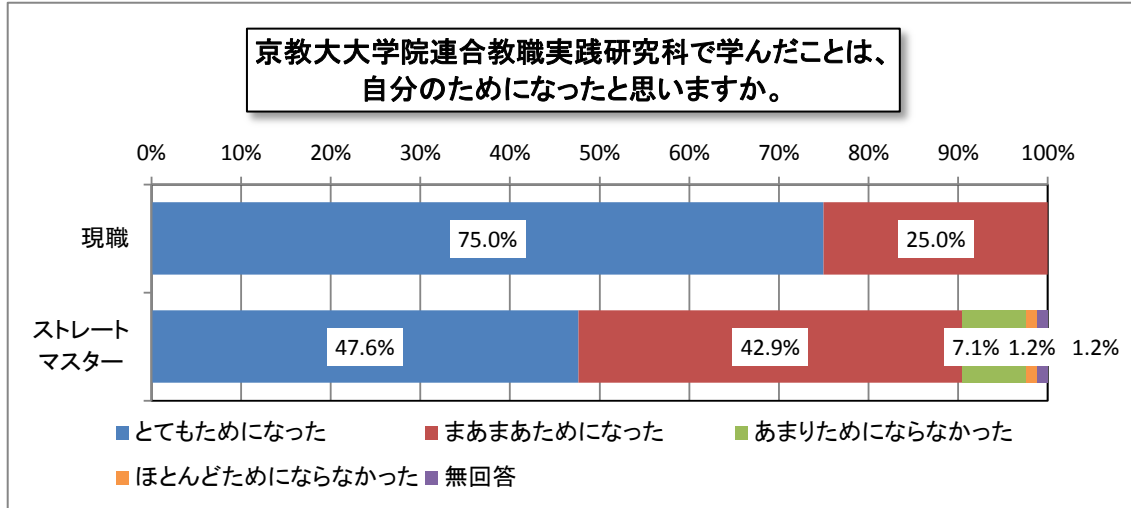
(12)-3 大学の設備は適切でしたか。



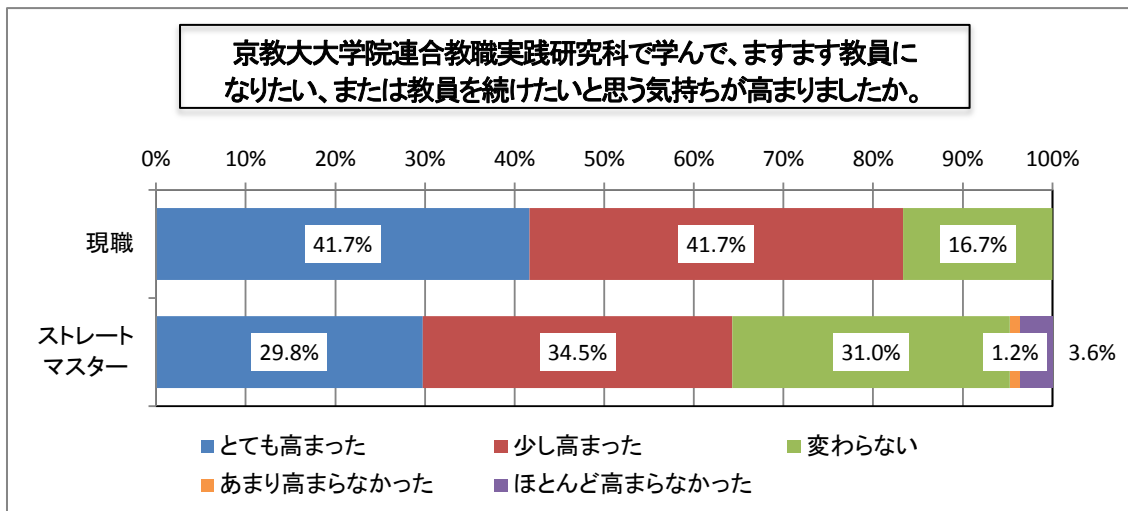
(13) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科では、ほとんどの科目で現職とストレートマスターが一緒になるように授業が組まれています。この点いかがですか。



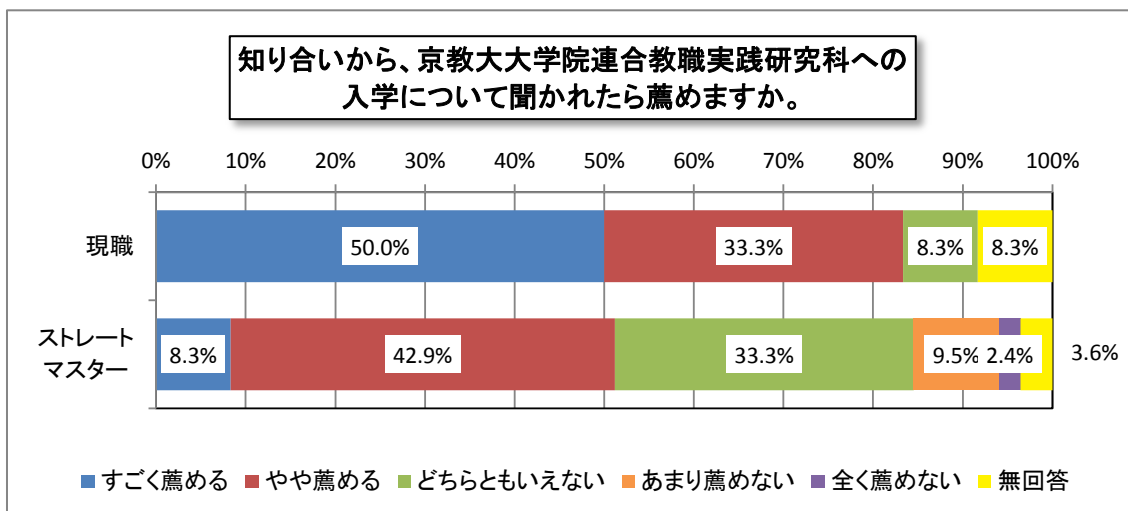
(14) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。



(15) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。

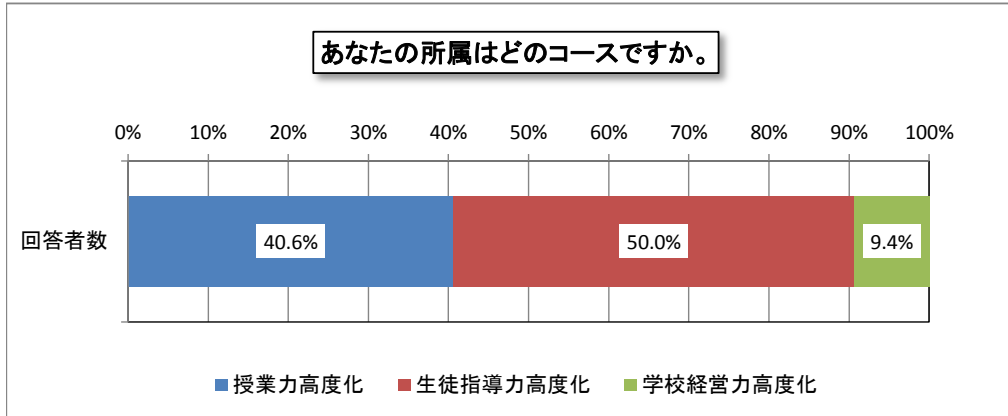


(16) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

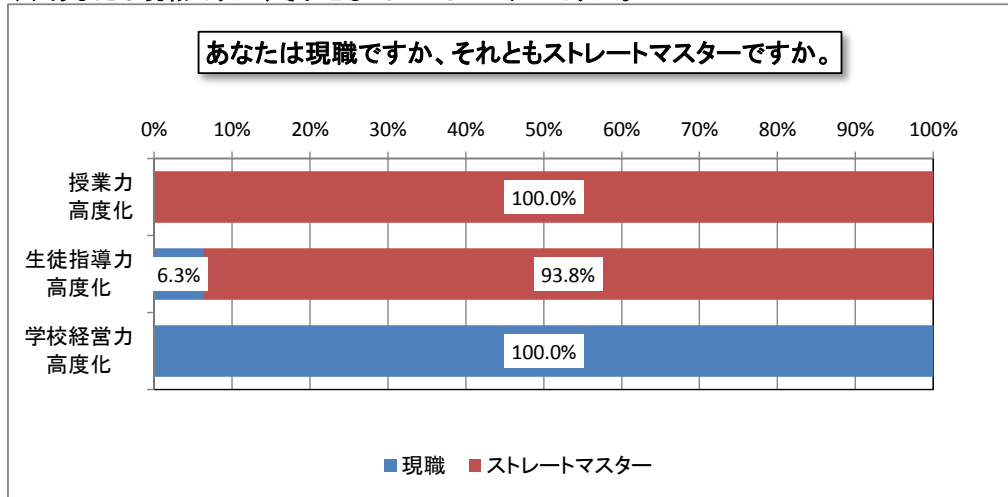


連合教職実践研究科アンケート(2012年度)【コース別】

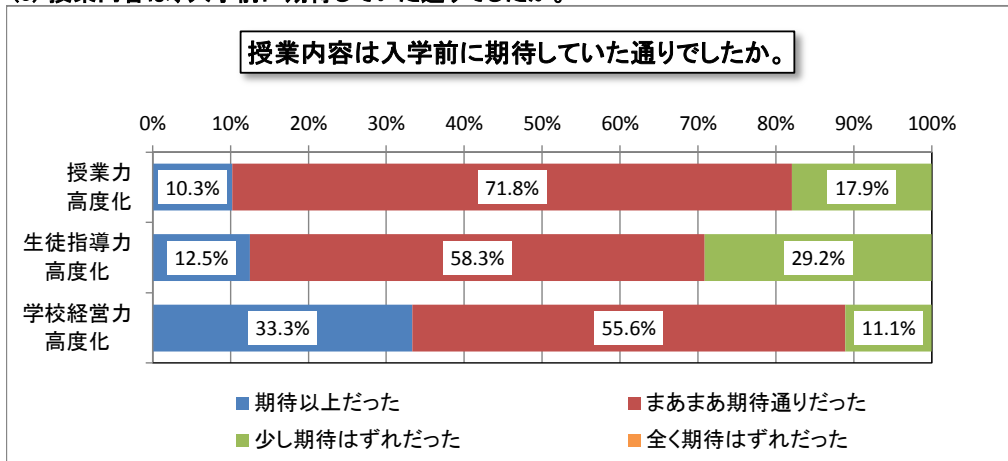
(1) あなたの所属はどのコースですか。



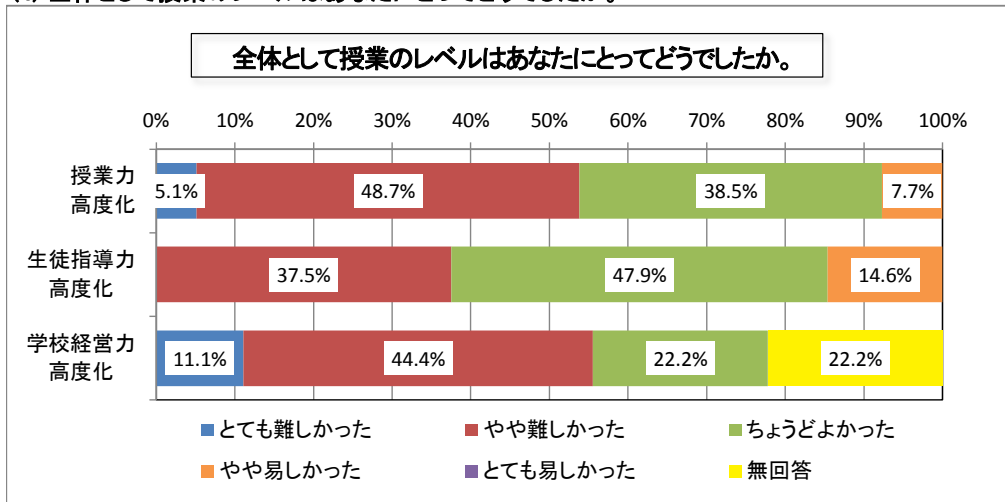
(2) あなたは現職ですか、それともストレートマスターですか。



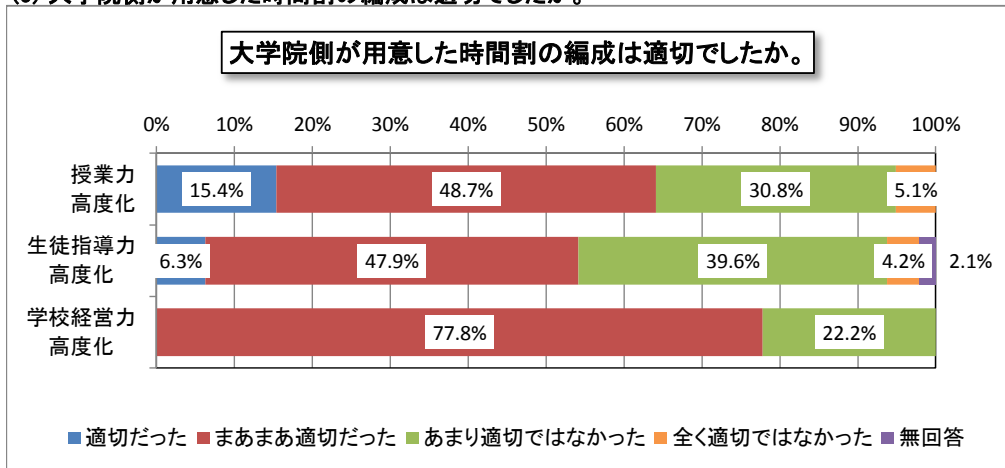
(3) 授業内容は、入学前に期待していた通りでしたか。



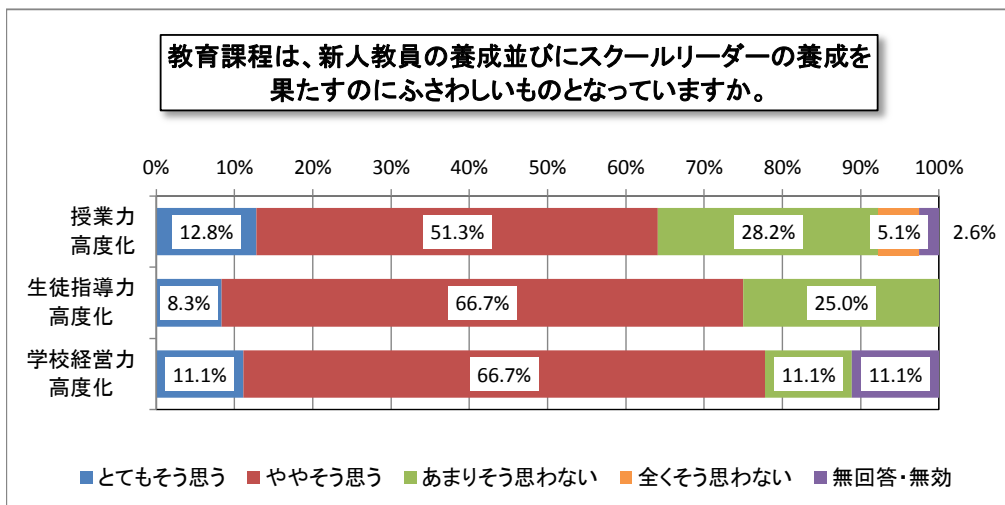
(4) 全体として授業のレベルはあなたにとってどうでしたか。



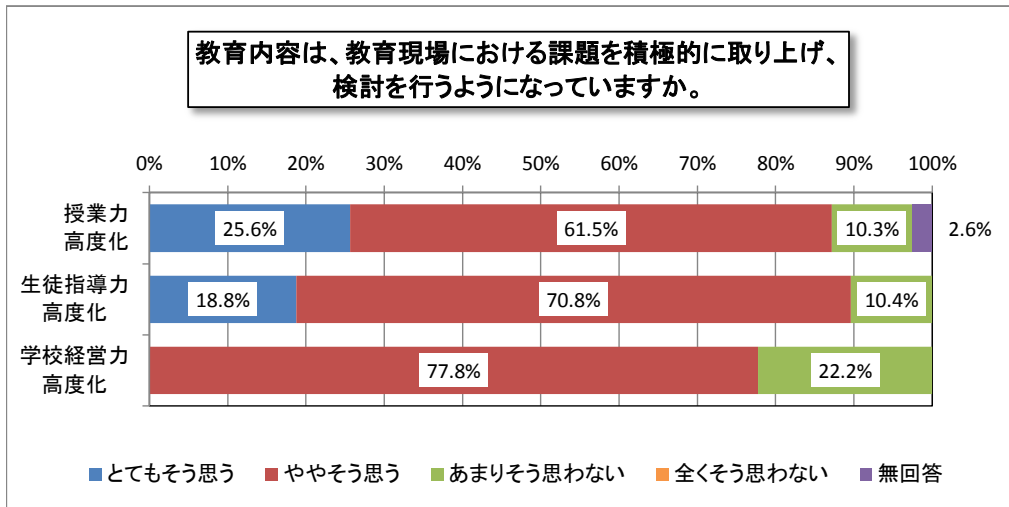
(5) 大学院側が用意した時間割の編成は適切でしたか。



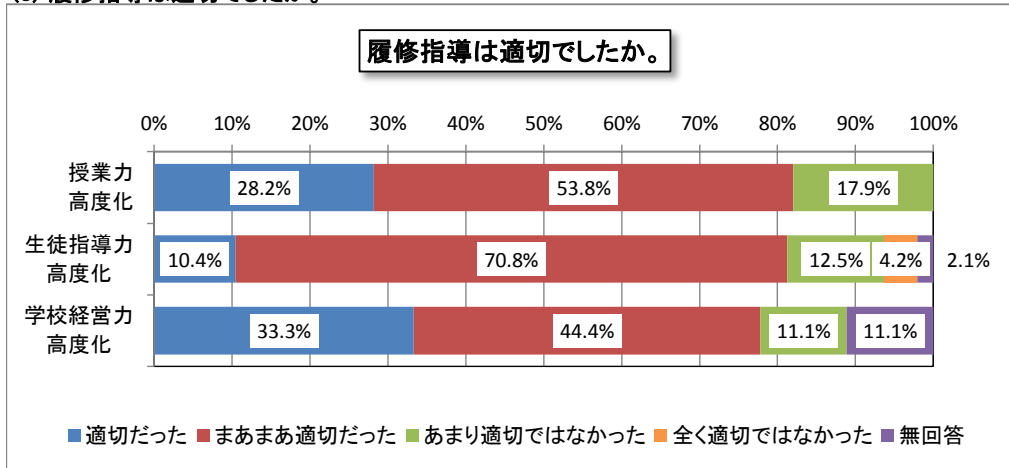
(6) 教育課程は、新しい学校づくりの有力な一員となりうる新人教員の養成並びにスクールリーダーの養成を果たすのにふさわしいものとなっていますか。



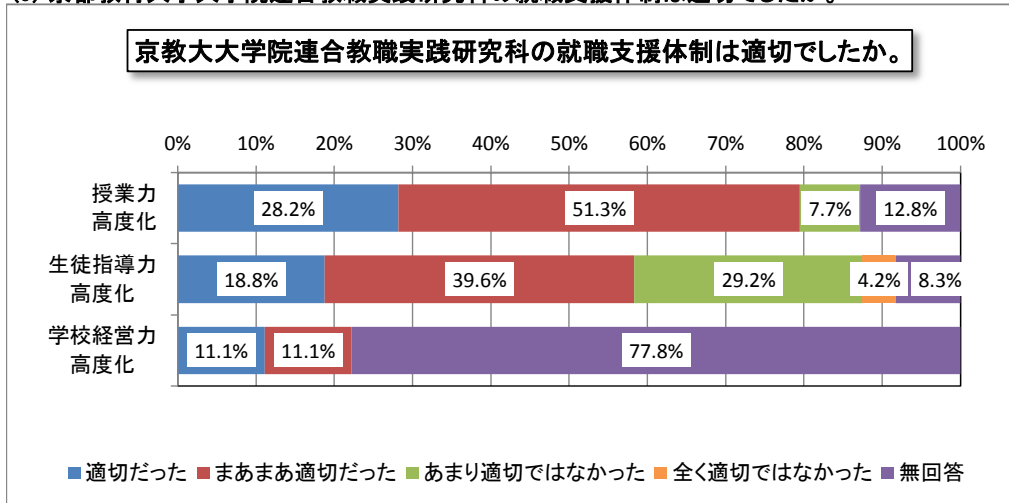
(7) 教育内容は、教育現場における課題を積極的に取り上げ、その課題について検討を行うようになっていきますか。



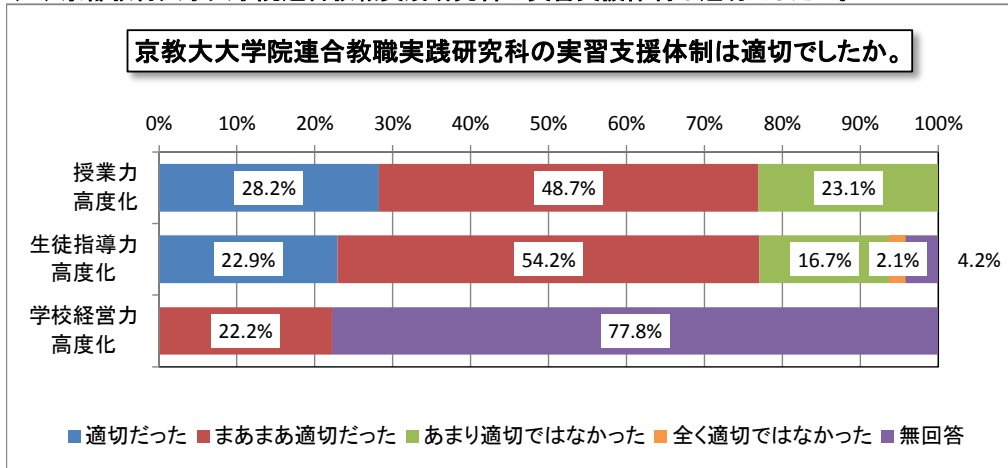
(8) 履修指導は適切でしたか。



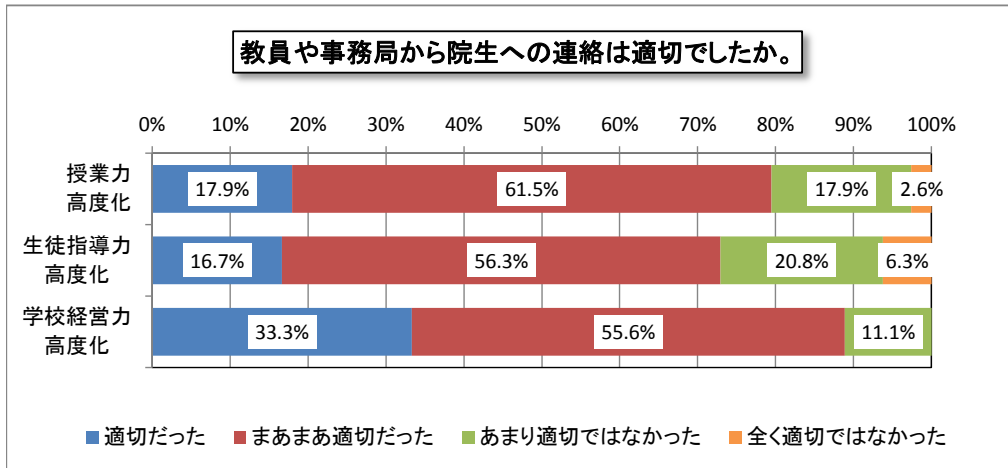
(9) 京大大学院連合教職実践研究科の就職支援体制は適切でしたか。



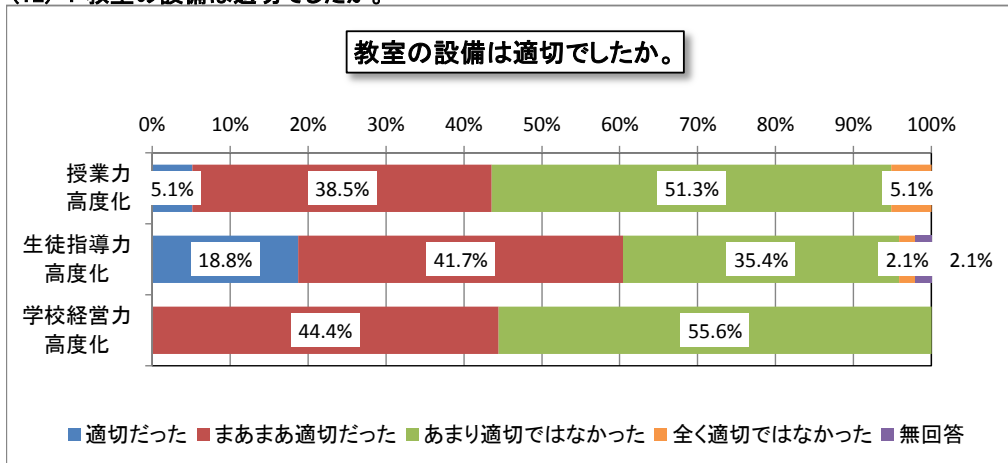
(10) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科の実習支援体制は適切でしたか。



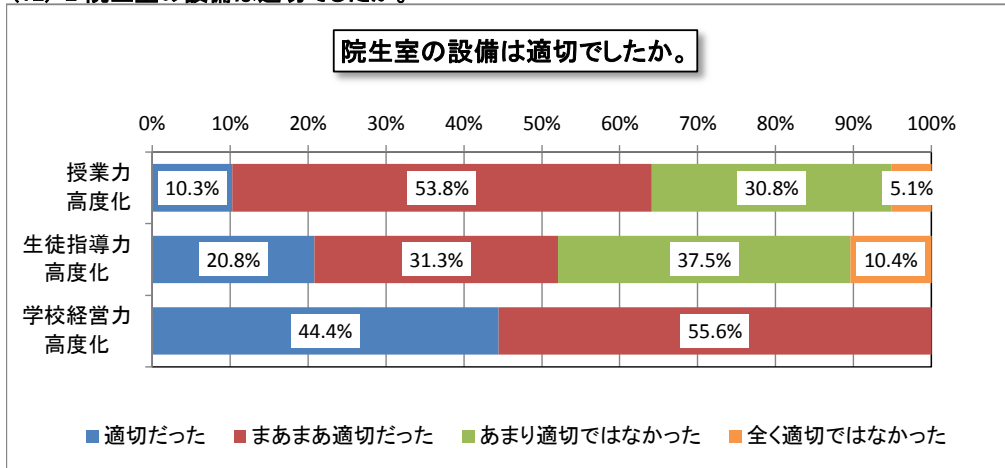
(11) 教員や事務局から院生への連絡は適切でしたか。



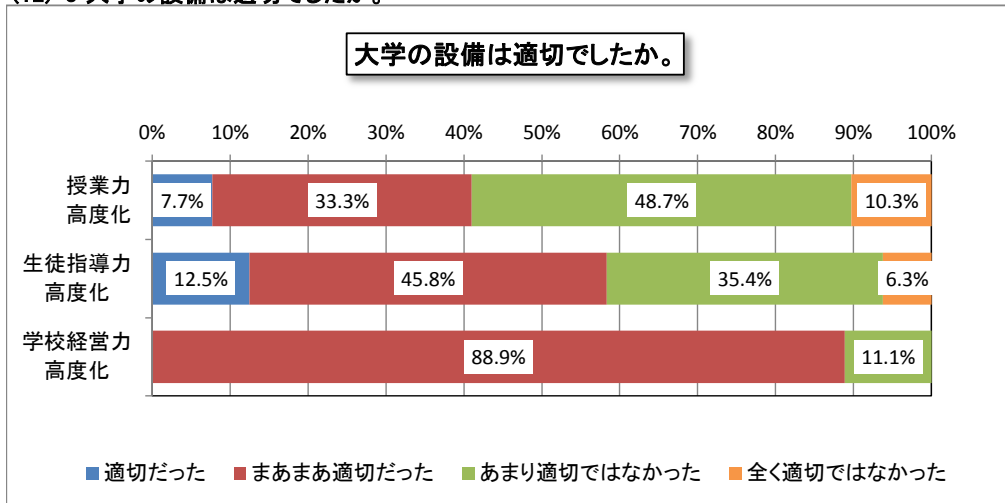
(12)-1 教室の設備は適切でしたか。



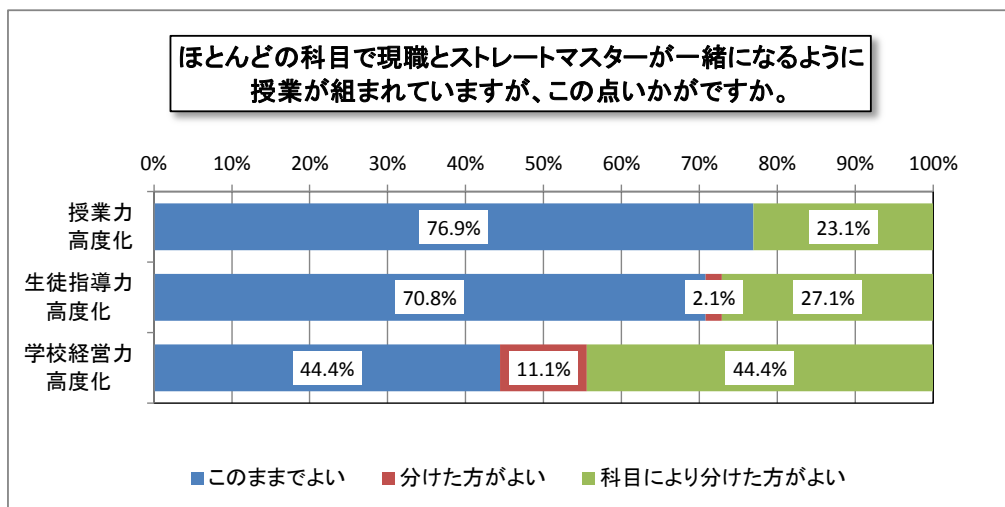
(12)-2 院生室の設備は適切でしたか。



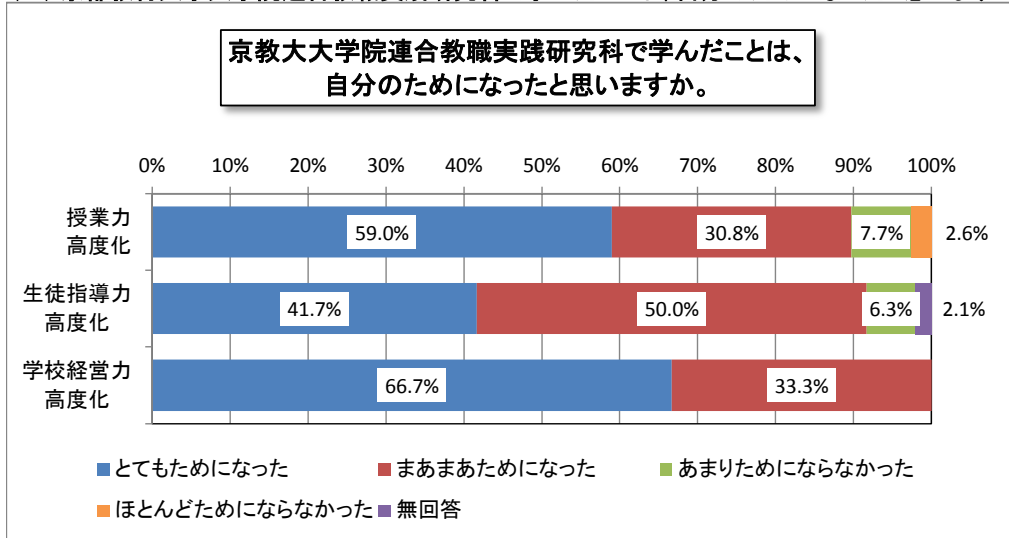
(12)-3 大学の設備は適切でしたか。



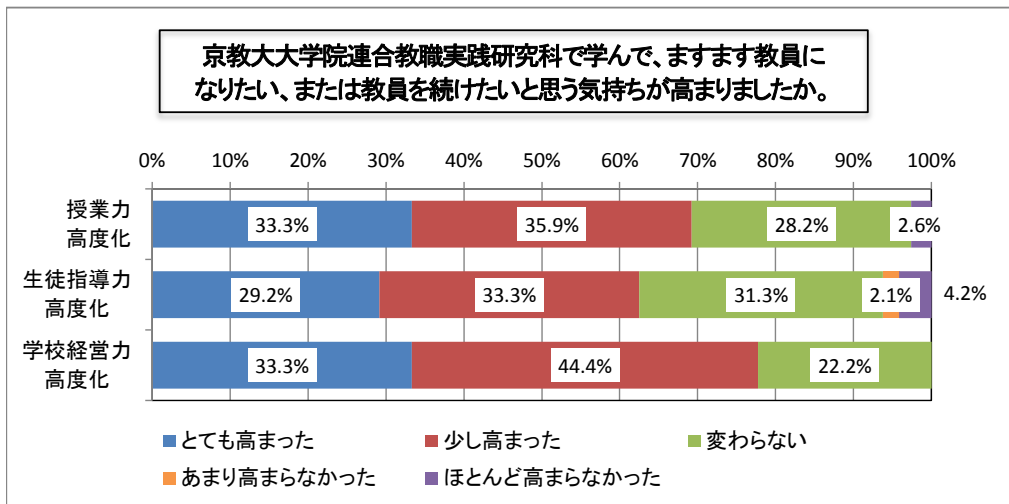
(13) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科では、ほとんどの科目で現職とストレートマスターが一緒になるように授業が組まれていますが、この点いかがですか。



(14) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んだことは、自分のためになったと思いますか。



(15) 京都教育大学大学院連合教職実践研究科で学んで、ますます教員になりたい、または教員を続けたいと思う気持ちが高まりましたか。



(16) 知り合い(後輩や職場の同僚等)から、京都教育大学大学院連合教職実践研究科への入学について聞かれたら薦めますか。

